

二  
四月二十日付、大工場主は、工場内に労働者全員の賃金を減らす方針を示した。この決定は、労働者の賃金を削減する一方で、労働時間の延長を実現するものである。労働者は、この決定に反対し、大工場主と交渉を行ったが、最終的には賃金の削減が実現された。労働者は、この結果、生活の逼迫感を抱くこととなり、労働環境の悪化が懸念される。

場内出版物フ舉ゲテ此ノ闘争ニ參 加サセルノモ勿論ダガ、ソレバ  
カリデハ不充分ダ。休憩時間ヲ飯食フ時、便所ヘユク迄、更衣室ヤ  
浴場、工場ヘノユキ歸リ等々、一人ノ相手ヲ見付ケタ時、モ四五人  
ノ集リノ場所デモ、アラニル機會フ利用シテ、口カラ口ヘノ宣傳、  
煽動ヲ執拗ニヤラネバ駄目ダ。又字ニヨルアヂプロダツチビラ傳單  
ニ限ツタコトハナイ。白墨一本フ利用シテデモ巧妙ナアヂプロ（煽  
動宣傳）カナサレ得ルノダ。耐才ノアル者ハ慢論ナドア利用スレバ  
效果ガ更ニ數倍スルコトガ少クナイ。

舊評議會時代ニハ（三・一五マデ）合法的事務所フ中心ニ壁新聞ガ  
盛ニ利用サレタモノダガソノ後俺達ノ組織ガ非合法ニ地下深ク追ヒ  
込メラレテカラトイフモノハ、ビツタリト壁新聞ノ利用ガナサレナ  
タナツテ了ツタ。俺達ハ労働者ノ創意性フ發揮シテ地下ニ於ケル組  
織ノ力ア壁新聞フ公然ト發行シナケレバナラナイノダ。組織ガ地下  
ニ追込マレテキレバキル程、カウイフ闘争ガヨリ必要ナノダ。